

2022年度秋学期 生命科学研究科修士論文公聴会 開催通知

2022年度秋学期 生命科学研究科 修士論文公聴会を以下の通り開催いたしますので、ご通知いたします。

立命館大学大学院生命科学研究科長
若山 守(公印省略)

※学内で実施するにあたり、ソーシャルディスタンスと換気を行います。

コース	指導担当	氏名	タイトル	日程	時間	開催場所
応用化学コース	稲田 康宏	石田 貴也	炭素に担持したNiOの電気化学的コンバージョン過程の化学状態解析	2月21日 (火)	9:00 ~ 9:40	【A会場】 フォレストハウス F201
	稲田 康宏	西川 琢斗	リン酸鉄リチウム正極の微視的空間分布解析と反応分布に及ぼす条件			
	越山 友美	大久保 皓	ゴースト赤血球の細胞骨格蛋白質への金属錯体の化学修飾		9:40 ~ 10:40	
	越山 友美	小牧 航輔	金属ハイブリッドチャネルのイオン輸送能の解明			
	越山 友美	ZHANG Yiyang	金属結合性ペプチドを修飾したゴースト赤血球を用いた磁性ナノ粒子合成			
	折笠 有基	大橋 亮悟	Sr ₂ F ₂ Fe ₂ O ₈ 酸硫化物を用いたフッ化物イオン二次電池用正極材料の合成		10:50 ~ 12:30	
	折笠 有基	櫻井 祐輔	X線コンピュータ断層撮影法を用いたガラス固体電解質におけるデンドライト成長機構解析			
	折笠 有基	作花 勇也	X線コンピュータ断層撮影法を用いた全固体電池の三次元解析			
	折笠 有基	寿井 美咲	全固体電池合剤電極におけるイオン・電子伝導度分離測定手法の開発			
	折笠 有基	山岸 真梨也	塩化物系固体電解質に対する異種アニオンドープが電気化学的特性へ及ぼす影響			
	堤 治	岡田 悠吾	粘土層間安定ラジカルを用いた新規ラジカル重合系の開発		9:00 ~ 10:20	【B会場】 フォレストハウス F202
	堤 治	落合 颯也	主鎖型キラルネマチック液晶エラストマーの選択反射特性			
	堤 治	権名 麗	凝集誘起発光現象を利用した金0錯体の結晶成長過程の観察			
	堤 治	四方 優輝	傾斜光重合によって自発的に形成される周期的な分子配向			
	堤 治	中野 素	主鎖型コレステリック液晶ポリマーのメカノオプティカル機能			
	堤 治	福井 直弥	キラルネマチック液晶微粒子をブロープとした3次元変形解析		10:30 ~ 11:50	
	堤 治	不破 雄大	メカニカルメタマテリアルを導入した積層型キラル液晶エラストマー			
	堤 治	若狭 耀生	環状三核金0錯体の光結晶化による結晶構造制御			
	花崎 知則	池口 紗央	キラルネマチック液晶の二周波駆動方式による配向制御と物性評価		13:00~14:20	
	花崎 知則	伊藤 叶	ATRP法を用いた高分子シランカップリング剤の合成とそのコンポジットレジンへの応用と評価			
	花崎 知則	江見 大樹	キラル液晶場での芳香族ヘリカル共役ポリマーの合成と円偏光発光特性			
	花崎 知則	川崎 康晴	液晶性テトラフェニルエテン誘導体の合成とキラル化合物添加による円偏光発光特性の評価			
	花崎 知則	田中 峻馬	二周波駆動液晶を用いた主鎖型球状液晶エラストマーの作製と電場印加による形状変化			
	花崎 知則	藤田 映里	両親水性トリブロックポリマーの合成とそれを用いた懸濁重合によるビーズポリマーの合成条件の検討		14:30~15:30	
	花崎 知則	松木 夏菜	キラルドーパントを含む蛍光性液晶化合物の光学特性の評価			
	加藤 稔	青山 実伽子	Cytochrome cをモデルとしたタンパク質の圧力誘起リフォoldingに関する研究	2月22日 (水)	9:00 ~ 10:20	【A会場】 フォレストハウス F201
	加藤 稔	池田 広夢	インスリンアミロイド凝集体の可溶性に関するハロゲン化アルカリ塩の添加効果			
	加藤 稔	宇加 直輝	ラマン分光を用いたLysozyme溶液の液-液相分離に関する研究			
	加藤 稔	大池 裕登	Trp-cageとその変異体の構造安定性に及ぼす温度・圧力効果			
	加藤 稔	高橋 一輝	圧力ジャンプ法によるタンパク質のフォolding反応の研究			
	加藤 稔	藤原 直也	クチナーゼによるポリエチレンテレフタレート(PET)分解反応に及ぼす圧力効果			
	加藤 稔	宮内 晃平	FTIR法によるグアニン四重鎖構造の構造安定性に及ぼす温度・圧力効果			
	小林 洋一	伊藤 大貴	金属ドーパ酸化亜鉛ナノ結晶の光誘起電荷注入		13:00 ~ 14:40	
	小林 洋一	佐藤 亮太	ジピロリルジケトンフッ化ホウ素錯体およびその水溶性ナノ粒子の光物性			
	小林 洋一	真田 優介	銅イオンをドーブした硫化亜鉛ナノ結晶による低い光強度閾値での水和電子発生とペルフルオロアルキル化合物の分解			
	小林 洋一	宮原 拓也	フェノキシル-イミダゾリルラジカル複合体を配位子としたイリジウム錯体の合成とフォトリミズム			
	小林 洋一	渡邊 唯史	ペリレンビスイミドを配位した硫化銀ナノ結晶の近赤外光誘起電子移動ダイナミクス			
	長澤 裕	辻井 遼	フラレン誘導体[60]PCBM:電子供与性溶媒中での電荷移動錯体形成と光助起ダイナミクス		14:50 ~ 16:10	
	長澤 裕	東 岳斗	ヘミンジゴ誘導体の超高速EPR光異性化反応助起状態ダイナミクス			
	長澤 裕	日名子 一起	光合成細菌のTypeI型反応中心における電子移動機構の追跡			
長澤 裕	山本 哲也	光合成アンテナ蛋白質複合体LH2/バイオハイブリッドのエネルギー移動ダイナミクス				
前田 大光	安孫子 太一	1,3-ジケトン骨格から誘導されるπ電子系の合成	2月22日 (水)	9:00 ~ 10:20		【B会場】 フォレストハウス F202
前田 大光	石川 壮	反芳香族性π電子系集合体の創製				
前田 大光	高木 優	電子ドナーユニットを導入したボルフィリンAu ^{III} 錯体イオンペアの創製				
前田 大光	中島 諒也	π拡張型ボルフィリンAu ^{III} 錯体の創製とイオンペア集合化				
前田 大光	平石 直也	ボルフィリン双性イオン:分極構造に起因した電子物性と集合化				
前田 大光	藤井 良多	イオンペア集合体の構成ユニットとなる荷電ボルフィリンの周辺修飾				
前田 大光	藤田 雅輝	ヘテロボルフィリンカチオンのイオンペア集合化と電子状態の変調				
前田 大光	小川 達也	クロロフィル二量体の合成に関する研究				
前田 大光	谷 駿輔	合成バクテリオクロロフィルα類の自己集合における3'位置換基効果				
民秋 均	石井 辰彦	アミド架橋クロロフィル二量体の自己集積化に関する研究		13:00~14:20		
民秋 均	石川 陽紀	クロロフィル誘導体の13族元素錯体の合成と物性	14:30~15:50			
民秋 均	大八木 燎	クロロフィル類の分子内不斉配位に関する研究				
民秋 均	阪口 加奈	3位および20位置換クロロフィル誘導体の合成と物性				
民秋 均	塩崎 舞衣	天然クロロフィルとその重水素化類縁体の物性				
民秋 均	寶田 悠希	ビリジニウム化クロロフィル類の合成と物性				
民秋 均	出呂町 清	NADHモデル錯体の合成とその二酸化炭素光還元	16:00~17:00			
民秋 均	久安 巧巳	天然クロロフィルから化石ボルフィリンへの変換に関する研究				
民秋 均	平田 貴憲	POSSを利用したペプチドライブラリーの合成的研究				

※1件発表時間20分

コース	指導担当	氏名	タイトル	日曜	時間	開催場所
生物工学 コース	三原 久明	澤 すずな	<i>Geobacter sulfurreducens</i> 由来転写因子ExtRの認識DNA領域およびエフェクター分子の同定	2月21日 (火)	09:00 - 10:35	フォレストハウス F203
	三原 久明	植田 響輝	<i>Cellulomonas</i> sp. D3aの亜セレン酸還元機構に関する研究			
	三原 久明	小島 響平	メチオニンスルホキド還元活性を示す新奇モリブデン酵素の基質特異性の解明			
	三原 久明	白砂 元海	<i>Pseudomonas putida</i> 由来フラビン含有D-リジン酸化還元酵素AmaDの電子受容体に関する研究			
	三原 久明	藤田 圭一郎	硫酸還元細菌 <i>Geobacter sulfurreducens</i> のマルチヘムシクロム様タンパク質に関する研究			
	若山 守	河井 絵璃佳	ラクトー酢の生産と酢酸発酵に及ぼす乳酸の影響		10:35 - 11:26	
	若山 守	辻 茜	<i>Acetobacter pasteurianus</i> SKU1108の発酵生理における膜脂質の影響			
	若山 守	津田 裕二郎	α -1,3-グルカンオリゴ糖のバイオフィルム形成への影響			
	石水 毅	永山 諒	シロイヌナズナ由来GH3 β -グルコンダーゼの同定と生化学的解析	2月22日 (水)	13:00 - 14:35	
	石水 毅	大山 菜緒	アズキ上胚軸由来ベクチンRG-アラビノース転移酵素の生化学的解析			
	石水 毅	坂本 若菜	植物細胞壁ベクチン生合成に関与する糖転移酵素遺伝子の探索			
	石水 毅	井口 翔	希土類元素による低光強度下トマトの伸長促進と発現変動遺伝子			
	石水 毅	橋本 斗汰	セロリ由来アビニン生合成グルコース転移酵素の遺伝子同定と生化学的解析			
	竹田 篤史	井口 悠太	殺菌剤フェリムゾンの作用点の解明に向けた研究		09:00 - 10:52	
	竹田 篤史	岡崎 将大	RCNMV感染時における移行タンパク質と宿主因子NbGAPDHの機能解析			
	竹田 篤史	北村 真規	<i>Nicotiana benthamiana</i> におけるClade II ARGONAUTE遺伝子の機能解析			
	竹田 篤史	鈴木 尚人	高湿度および高温による植物免疫の抑制に関連する転写制御因子の解析			
	竹田 篤史	田村 孝太郎	比較ゲノミクスによる <i>Pseudomonas syringae</i> 系統間の病原性差異を生み出すエフェクターの同定			
	竹田 篤史	渡邊 瑞輝	<i>Nicotiana benthamiana</i> におけるDCL遺伝子の機能解析		10:52 - 11:09	
	松村 浩由	島田 樹	トチュウ由来短鎖および長鎖ポリイソプレレン合成酵素の構造機能解析			
	久保 幹	竹内 諒	水生生物による水質浄化システムの構築及び効果検証	12:30 - 13:21		
	久保 幹	西原 大智	木質バイオマスを用いた新規有機土壌の開発			
	久保 幹	藤枝 由夏	有機物による土壌肥沃度向上に関する研究			
	武田 陽一	青木 涼馬	人工糖鎖基質を用いたEDEM2の基質特異性の検討	13:21 - 14:05	14:05 - 14:56	
	武田 陽一	西尾 謙一郎	麹菌 <i>Aspergillus oryzae</i> における新規選択的オートファジー関連タンパク質の探索および解析			
	笠原 賢洋	朝田 康輝	黄緑藻類フシナシミドロにおける新奇光受容体LCVと葉緑体光定位運動の関係			
	笠原 賢洋	森谷 亮太	ヒメツリガネゴケ飯根の光応答			
	笠原 賢洋	中神 元希	ゼニゴケcAMPエフェクター候補の探索と解析			

※1件発表時間:17分

コース	指導担当	氏名	タイトル	日程	時間	開催場所
生命情報学コース	深尾 陽一朗	石井 知穂	木酢液がイネおよび主要作物に与える生育促進効果の検証と機構解明	2月21日 (火)	9:00 - 10:15	フォレストハウス F206
	深尾 陽一朗	砂走 直輝	バイオ炭および木酢液が作物の生長に与える影響の解析			
	深尾 陽一朗	黒木 駿之介	亜鉛欠乏したシロイヌナズナの根におけるROS蓄積にはRBOHが関与する			
	深尾 陽一朗	小林 泰平	シロイヌナズナの亜鉛恒常性維持に寄与するAtbZIP19およびAtbZIP23のオルソログの解析			
	深尾 陽一朗	牛尾 麻里奈	シロイヌナズナのスフィンゴ脂質代謝に関わる新規遺伝子の探索と分解酵素の解析			
	寺内 一姫	二井 恭平	シアバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803における光合成の嫌気環境への応答		10:30 - 11:30	
	寺内 一姫	森 大起	時計タンパク質KaiCのリン酸化部位変異が概日振動に及ぼす影響			
	寺内 一姫	平野 大河	紅色光合成細菌における時計タンパク質KaiCホモログの機能解析			
	寺内 一姫	三好 玲於	シアバクテリア概日時計における多彩な天然キノンアナログの効果			
	寺内 一姫 (共同担当:浅井 智広)	稲垣 知実	構造対称化を旨とした緑色硫黄細菌光合成反応中心の温和な解体		11:30 - 12:00	
	寺内 一姫 (共同担当:浅井 智広)	佐藤 泰河	多成分の指数関数的減衰解析における成分数の自動推定			
	天野 晃	堀川 雄志郎	遺伝子発現量を考慮したマウス幹体双極細胞モデル		13:00 - 15:00	
	天野 晃	堀 康太	イオンチャネル局在性を考慮したマウス幹体視細胞モデルを用いた網膜電図a波成分の解析			
	天野 晃	原 亮介	心室筋細胞モデルにおけるシミュレーション条件変化時の細胞内イオン平衡濃度決定メカニズムの解析			
	天野 晃	吉田 尚矢	筋節長変化に伴うATP消費をモデル化した筋細胞における収縮モデルの構築			
	天野 晃	榎本 玲佳	ヒト心室筋細胞一次元ケーブルモデルを用いた活動電位再分極のイオンメカニズム			
	天野 晃	中西 優奈	E-4031による阻害効果を再現するhERGチャネル状態遷移モデル			
	天野 晃	ベルネッガー ニコラス	肺および骨格筋コンパートメントを有する血液ガス交換モデルを用いた安静時および運動時の酸素・二酸化炭素輸送の再現			
	天野 晃	小林 千夏	Hexokinase酵素反応速度を考慮した運動時骨格筋糖コース取り込みフラックス増加メカニズムの解析			
	高橋 卓也	酒井 佑介	分子動力学法による新規RUNX1阻害薬候補化合物の結合様式の解明		15:15 - 16:15	
	高橋 卓也	中野 雄太	TGIF-1の天然変性領域上にあるセリン残基のリン酸化による機能解析			
	高橋 卓也	延永 慎吾	Helix傾向が異なる9種類のペプチド周囲における水和ダイナミクスの分子動力学的研究			
	高橋 卓也	謝 韻琳	拡張アンサンブル法による新たな蛋白質相互作用メカニズムの検討			
	伊藤 將弘	海野 琢真	線虫 <i>C. elegans</i> におけるヒストン脱アセチル化酵素HDA-21による受精卵サイズと胚発生調節メカニズムの解析		16:15 - 16:45	
	伊藤 將弘	高塚 悠	線虫 <i>C. elegans</i> PAF1複合体の生殖細胞特異的なトランスクリプトーム解析			

※1件発表時間:15分

コース	指導担当	氏名	タイトル	日程	時間	開催場所
生命医科学コース	川村 晃久	相澤 実優	マウスの心臓再生に寄与する microRNA の探索	2月21日 (火)	10:00 - 11:48	フォレストハウス F303
	川村 晃久	江崎 得彰	iPS細胞への初期化誘導とヒストンラクチル化修飾の関係性			
	川村 晃久	尾畑 諒	Alcam 遺伝子の exon 13欠損が細胞分化や発生に与える影響			
	川村 晃久	土井 晃大	マウス心筋細胞の自発性拍動における洞房結節特異的遺伝子の影響			
	川村 晃久	WU Yifan	次世代シーケンシングデータ解析による洞房結節特異的遺伝子の探索			
	川村 晃久	中原 正登	人工受容体を介した組織特異的ダイレクトリプログラミング法の開発			
	川村 晃久	西浦 康介	マウス脊髄損傷モデルの作製と細胞移植再生治療に関する研究			
	川村 晃久	西野 裕美子	肺線癌発症における非受容体型チロシキナーゼ SYK の関わり			
	川村 晃久	WANG Yunce	マウス胚における左心室筋前駆細胞の局在と系譜に関する研究			
	西澤 幹雄	尾崎 大夢	初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導抑制作用を持つゼンコ成分の同定		11:53 - 12:29	
	西澤 幹雄	梶村 美月	チモの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対する効果		13:00 - 14:00	
	西澤 幹雄	忠海 奏	オングの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導抑制作用を持つ成分の探索			
	向 英里	澤 妃かり	マウス単離肝細胞を用いた糖新生抑制効果を持つ栄養素の探索			
	向 英里	吉見 友梨	BCAAは膵β細胞のインスリン分泌増強により血糖値を抑制する			
	向 英里	杉本 一馬	膵β細胞インスリン分泌機構における糖代謝に対するSrcの制御			
	向 英里	村山 友理	カルノシンの血糖値抑制効果とそのメカニズム			
	向 英里	横山 大輔	PKAとPKCのインスリン分泌増強におけるAKAP7の役割			
	白壁 恭子	北方 紗知	SIRP α スプライシングバリエアントの機能の比較			
	白壁 恭子	坂本 郁弥	Rab7変異体を用いたリン酸化の解析		14:50 - 15:50	
	白壁 恭子	HUA Zhihai	VIP36の膜内切断感受性を決定する膜貫通領域アミノ酸配列の解析			
	田中 秀和	井上 翔太	脳梗塞後のArcadin発現パターンと発現機構の解析			
	田中 秀和	高山 晃行	海馬歯状回においてデスモソームタンパク質Desmoplakinは一次繊毛のrootletに局在する			
	田中 秀和	河前 なつみ	神経可塑性に関係するArcadinが海馬CA3錐体細胞の形態に及ぼす影響			
	田中 秀和	山本 愛実	海馬歯状回における非定型カドヘリンの局在			
	田中 秀和	雑賀 智菜実	海馬神経細胞におけるPlakophilin-2の核内局在			
	早野 俊哉	岩本 大輝	BAFのヌクレオチド除去修復への関与			
	早野 俊哉	友近 愛	HNRNPDのアイソフォームを用いたSam68核内構造体の新規構成因子の探索			
	早野 俊哉	中村 祐章	染色体の凝集・分離におけるEmerinの新規機能の解析			

※1件発表時間:12分